



SESERAGI—MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2017～2018年度 RI会長 イアンH.S.ライズリー  
RIテーマ ローター：変化をもたらす

クラブテーマ「奉仕・親睦 自分たちにできること」会長 山口辰哉

副会長 石井司人 幹事 宮澤正昭

第1357回 例会  
2018.3. 2(金)晴

司会：田中錦城君 指揮：藤川智徳君  
ローターソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

## 会長挨拶

会長 山口辰哉君

昨日は「春一番」だったようです。快晴、但し非常に風の強い一日でした。春一番で思い出してしまいましたのは、昨年2月17日だったと思いますが、杉山隆君がこの強い風の中での作業中、事故で亡くなられたことでした。とても残念なことでした。改めてご冥福をお祈りいたします。

冬季オリンピックが終わりました。このあとパラリンピックが始まります。私自身、オリンピックは結構楽しませてもらいました。ここで皆さんから「そだね～」と北見なまりで言っただけのといいんですが・・・。感動したのは小平さんの500メートルです。37秒を切る速さで走っている姿をテレビで見ながら思わず声を出して応援してしまいました。私の頭の中にはかつて鈴木恵一というスケートの選手がいて、彼は当時同じく500mの世界記録保持者であったと思いますが、40秒を切る切らないの記録であったと思います。それに比べると女性で36秒台、すごい、の一言です。女子のバシュートもすごかった。数字として表される競技は確かなものを感じます。でも、人が判断して芸術点や表現力、技術点を競うフィギュアのようなものは、人間ですから感情も入るだろうと思います。嫌いとまでは言いませんがどうしても必死になって観るような気分になれません。でも選手が、やはり海外への遠征が多いためか、そのスポーツが盛んな国で長期にわたって練習したり転戦したりすることが日常になっているせいか、彼、彼女たちは皆さん英語のインタビューを受けても英語でちゃんと答えていました。素晴らしい、と思いました。羽生さんや小平さん、ジャンプの高梨沙羅さんもそうでした。女子カーリングのどなたか分かりませんが、コーチの外人に英語で指示を仰いだり、質問したりする姿が一瞬中継の際に出ていました。最近のサッカー選手で海外移籍をしている方はあまり知りませんが、かつての日本代表、中田英寿さんのイタリア語はかなり正確だと友人のイタリア人が言っていました。いずれにしろ、自国語以外の言葉を操れるというのは羨ましい限りです。

さて、今日3月2日はどんな日か。

1981年のこの日、中国残留日本人孤児47名が肉親捜しのため来日、29名の方の身元が判明したそうです。みなさんもよくご存知だと思いますが、約30年前に山崎豊子さんが書いた「大地の子」という小説がありました。NHKでもドラマ化されましたので、ご覧になった方も多いと思います。山崎さんは、残留という言葉があたかも自分の意志で残ったような言い方なので一切使用しなかったそうです。あとはミニの日なんていう訳のわからない日だそうです。



## 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	23/32	71.88%	28/32	87.50%
今回	25/33	75.76%	会員総数	37名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、遠藤君、杉山君、中本君、中山君、服部君、兵藤君、渡邊君

(\*出席免除会員の欠席者 兼子君、澤田君、鈴木君、山口(雅)君)

前回の卓話から2年ほど経ちますが、前回の卓話で次回予告していた題材の件は状況が変わり、今日は別の題材にて行います。

私が社会人になり今年で30年になります。大学卒業後中堅ゼネコンに土木技術者として入社しました。日頃、皆さんの目につかない地下、橋梁、ダム工事等現場で何をしているかを私の経験を踏まえお話しします。

1年目は横浜の港北ニュータウンの造成工事に就任しました。飯場での生活となります。バラックの宿舎で夏は暑く、冬はやたらと寒い建物です。食事は猫も疎遠するような魚やかなり熟成された肉など普通なら食欲が失せるようなものばかり食べていました。休みは殆どなく、昼間は現場管理、夜は書類管理、特に写真整理には手を焼かされました。現場での失敗談では、隣地の民家を傾けてしまった事象です。軟弱な地盤の改良工事の機械重量が重く、想定される沈下養生では耐え切れずに、地盤の変異を誘発したことが原因でした。小さな失敗は数多く、作った構造物を作り直したりということはよくあります。2番目の現場は茨城の竜ヶ崎ニュータウンでした。

地盤が軟弱で、見た目は非常に頑固に見えるのですが、一度掘削をすると水が浮き泥水化してしまうため、とても危険な地質でした。そのため仮設材料の鉄板や土留材など発注数量と返納数量の差異が有ったことは事実です。

現場の範囲が広く、従事する管理者も所長を含め3人という体制なので、仕事量が多く、現場管理の資材(測量道具、図面、丁張材料等)を一度に運ぶため、かなりの体力と寒さ、疲労に打ち勝つ耐力が養われました。自衛隊でも十分通用するんじゃないかなと思えるくらいでした。

時間が経つのが早く、原稿の5分の1も進まないまま今日は終了いたします。



### スマイルボックス

**矢岸貞夫君**:先日地区チーム研修セミナーに石井邦夫君、田中錦城君と出席しました。次年度に向けての委員会の方針と行事日程が決まりました。いよいよ次年度がスタートいたします。

**山田定男君**:東日本大震災大槌町の募金にご協力いただきありがとうございます。

**加藤正幸君**:セールのお知らせ 3/6~3/10までパッケージプラザカトウでビッグセールがあります。ぜひご利用ください。ポケットにちらし入れてあります。

**土屋 巧君**:来たんですが、繁忙期につき帰ります。すみません。

**篠木喜世君**:IM参加できず残念です。来年は園行事がずれましたので参加できそうです。スマイルします。

**鈴木真知子君**:欠席多くてすみません。今日も来客のため失礼致します。

**藤川智徳君**:今日はたくさん花粉が飛んでいました。春の訪れにスマイルします。

## ROTARY NEWS

### 次期会長のメッセージ

ラシン会長エレクトは、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で、次期地区ガバナーに向けて2018-19年度テーマ「インスピレーションになろう」を発表。「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していきたいのです」

ロータリーの新しいビジョン声明は、次のように謳っています。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。ラシン氏は、このビジョン声明の意義を強調し、声明がめざすロータリーを実現するためにリーダーシップを発揮するよう求めました。「変化を生み出そうという意欲を、クラブ会長と地区内ロータリアンの心に芽生えさせていきたいのです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう手助けすることが皆さんの仕事です」

### ポリオ撲滅の進展

ロータリアンにとってインスピレーションの源の一つはポリオ撲滅活動である、とラシン氏は述べ、過去30年間に成し遂げた顕著な進展に触れました。1988年には野生型ポリオウイルスによって推定35万人が身体まひを患っていましたが、2017年に報告されたポリオ症例数はわずか21件。「今がポリオ撲滅活動の正念場」と語り、「新規症例があるたびに、それが史上最後の症例となる可能性がある」と述べました。ただし、最後の症例が報告されても仕事が済んだわけではないと、ラシン氏は強調します。「撲滅認定委員会がポリオ撲滅を正式に認定するまで、すなわち3年間、川や下水、または人の体内からポリオウイルスが一切発見されなくなるまで、ポリオ撲滅活動は終わらないのです。……それまでは、今行っているすべてのことを続けていかななくてはなりません」。こう述べたラシン氏は、予防接種活動やサーベイランス(監視)に引き続き力を入れていくことの重要性を訴えました。

### 環境の持続可能性を守る

さらにラシン氏は、近年、ロータリーが人道的活動における「持続可能性」を重視していることに触れ、環境汚染や気候変動という厳しい現実をロータリアンが認識すべきであると述べました。祖国パハマの土地の80パーセントが海拔1メートル以下であることも指摘。2100年までに海面が2メートル上昇すると推定されており、「私の祖国は、ほかの多くのカリブ海諸島や、世界中の沿岸都市や海拔の低い地域と同様、50年後にはなくなってしまう」と懸念します。

ロータリーのすべての奉仕活動を、より大きなグローバルなシステムの一部としてとらえるよう、ラシン氏は呼びかけました。「持続可能な活動成果をもたらし、世界をより良くしたいと私たちは願っています。ロータリー内部やロータリアンのためだけでなく、世界全体のあらゆる人たち、あらゆる世代のために、私たちにできることがあるのです」